

病理学的悪性度分類

病理学的悪性度とは、顕微鏡で見るがん細胞の顔つきのことです。分化の程度・異型の程度・増殖能を検討したものです。細胞同士のつながりで形成される構造パターン(構造異型度)、核の形の多様性(核異型度)、細胞の核分裂の程度(核分裂像数)の3つの因子から判定する組織学的グレード分類と、核異型度・核分裂像数の2つの因子で判定する核グレード分類とがあります。臨床的には、組織学的グレード分類も核グレード分類も同一の意義を持つものであり、リンパ節転移とともに乳がんの予後予測因子のひとつとなっています。低悪性度(Grade1)、中等度悪性度(Grade2)、高悪性度(Grade3)の3段階で評価します。